

令和 7 年度 施政方針

令和 7 年度一般会計をはじめ、各特別会計の当初予算及び関係諸議案のご審議をお願いするにあたり、私の市政運営に対する基本的方針と、新年度における主要な施策の概要を申し上げ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

1. 市政運営に対する基本的方針

我が国を取り巻く環境は、激甚化・頻発化する自然災害への対応、少子高齢化の進行、高度情報化の進展、地球規模での環境問題への取組みなど急速に変化をしています。住民生活に最も身近な基礎自治体においては、このような環境変化や政策課題に的確に対応し、住民福祉の増進を図ることが重要な役割として期待されています。

本市においては、現在、「持続可能な 魅力溢れるふるさと 常陸太田」の実現を目指し、4つの重点項目に取り組むとともに、デジタル化及びカーボンニュートラルの取組みを強力に推進しています。

去年は、市制施行 70 周年・合併 20 周年という節目の年を、記念式典や太田まつり、花火大会など、1年を通して、様々なイベントを開催し、市民の皆様とともにお祝いしました。私はこの節目の年を本市再生の絶好の機会と捉え、過去を振り返り現在を見つめ直し、未来の常陸太田を創造するため、市民の皆様とともに行動を起こすきっかけの年とすることが出来たと思っております。

私の市政運営における基本姿勢は、「魅力あふれる常陸太田」を、より住みやすく、次世代に負担を残すことなく継承していくために、事業の実施に際しては、重点分野は着実かつスピーディに推進するとともに、関連する各種施策を「パッケージ化」し、総合的に取り組むことにより、主要施策を効果的に推進することとさせていただきます。

これまでの主な重要施策の成果といたしましては、

まず、「安全安心なまちづくり」における「災害対策」については、避難先自治体の避難所統廃合等を踏まえ「原子力災害広域避難ガイドマップ」を更新しました。内水対策については、昨年 12 月に 2 台目となる排水ポンプ車の配備が完了し、定期的な実排水訓練の実施により、内水氾濫への備えを一層強化して参りました。

また、全国の自治体に先駆けて避難行動支援者用自動車保険へ加入し、円滑な避難体制の整備と防災意識の醸成を図って参りました。

「交通対策」については、高齢者などに寄り添った交通手段の確保を目的に、予約型 AI 乗合タクシーの運行エリアを市内全域とし、運行日数・運行台数を拡大したところ、利用者数は前年度からほぼ倍増しました。

また、自動運転 EV バスについては、先月から 2 台体制に増強し、常陸太田駅や鯨ヶ丘地区に運行エリアを拡大したところです。

「地域活動の支援」については、町会等の組織運営や活動実態の把握のため行政協力員等へのアンケート調査を実施致しました。アンケート結果を踏まえ、地域の課題解決に向けた取り組みを進めて参ります。

次に、「健康で快適な市民生活の実現」における「シニア世代の健康づくり」では、

健康寿命の延伸に向けフレイル対策を一層強化するため、「フレイル対策協力会」等を通じ、普及啓発活動等を行いました。また、全国に先駆けて訪問型によるフレイルチェックを昨年度から開始し、既に 220 件の自宅を訪問しました。長生き上手音頭については、市長杯を開催し 54 団体、1,000 人を超える参加者により、大いに盛り上がりをみせたところです。

また、運動広場や施設については、市民が健康づくりやスポーツ

を気軽に楽しめるよう、新総合体育館は令和 10 年度供用開始に向け整備を進めており、水府スポーツ広場については、この 5 月に供用を開始します。

次に、「少子化人口減少対策」における「結婚から妊娠、出産・子育て期まで切れ目のない支援」では、

高い未婚率の改善のため、AI マッチングシステムを活用した結婚相談事業の実施等により、カップルや婚姻が成立しました。

子育て世帯への支援としては、ファーストバースデー祝品を本年 1 月末までに 130 件贈呈したほか、中学校卒業祝として「じょうづるさんトートバック」を、来週の卒業式で贈呈します。

教育分野では、次世代を担う子供たちのために、ふるさと教育を通した郷土愛の醸成を図るとともに、グローバル社会で活躍できる人材の育成のため、英語教育、ICT 教育を重点的に推進しています。

「移住定住の促進」では、雇用の創出と買い物環境の整備のため、東部土地区画整理事業地への企業誘致を進めた結果、多くの買い物客で賑わうとともに、新たに 507 人の雇用が創出されました。

次に、「活力ある産業づくり」における「産業の活性化」では、道の駅の貨客混載事業においては、週 2 便体制の確立により販路が拡大し販売額も大幅に改善されました。また、就農においては初期投資への支援により、新たに 4 名が果樹及び野菜栽培を開始したほか、企業 4 社が新規参入しました。

観光面では、竜神大吊橋架橋 30 周年記念として、ライトアップを実施するとともに、茨城デスティネーションキャンペーンとして様々なイベントを実施し、新たな観光客の獲得に努めました。また、常陸秋そばリブランド化として、発祥の地記念碑の設置や「熟成常陸秋そば・冬けんちんフェア」を開催し、賑わいの創出を図って参りました。

これら 4 つの重点項目の推進に加え、「デジタル化の推進」では、行政手続きの電子申請フォームが今年度末で 1,430 件の作成が完了し県内トップとなりました。今後は、利用率向上のため市民への周知徹底に努めて参ります。行政情報アプリの操作性や機能性の向上を図るとともに、デジタル地域通貨アプリについては、プレミアム付商品券の発行をアプリ型とカード型で実施するなど、地域内経済循環の推進を図りました。

「カーボンニュートラルの推進」では、メープルリーフの森づくりや森林組合との連携による市有林整備事業により二酸化炭素吸収源の確保に努めるとともに、カーボンニュートラル基金を活用し、市民・団体・企業等を表彰し、意識啓発を図りました。

以上、各重点施策については、一定の成果が上がったものと認識しております。

これら重点施策以外についても、懸案であった里美南部・水府北部の簡易水道統合事業と簡易水道料金等の統一に向けた条例改正案を、昨年 12 月市議会定例会において可決いただくなど、大きな進展を見せたところです。

引き続き、公共施設の再配置を進めるとともに、「水道事業の今後の在り方」、「第三セクター統合」などの課題解決に取り組み、次の世代に確実にバトンを繋ぐことができるよう努めて参ります。

以上、令和 6 年度の主な実績と、今後の市政運営に向けた基本的考えを述べさせていただきました。

2. 新年度予算の概要

続きまして、令和 7 年度予算の概要について申し上げます。

「新総合体育館」や「官民連携複合施設」の整備、自動運転 EV バスの自動運転レベル 4 運行に向けた取り組みを着実に進めて参ります。

すとともに、常陸秋そばのリブランド化の推進や、新たに、次世代を担う子ども達の、本市への郷土愛を醸成するため「未来の常陸太田を創造する心を育成するプロジェクト」の始動など、本市の「輝く未来への新たなステージ」に向け着実にスタートを切れるよう取り組んで参ります。

主要事業について、ご説明致します。

（１）安全安心なまちづくり

「安全安心なまちづくり」につきましては、32 億 2,092 万円を計上致しました。

近年の集中豪雨等による災害に備え、急傾斜地・道路法面对策 及び内水対策を継続して実施して参ります。内水対策につきましては、排水ポンプ車を安全に活動させるために、源氏川堤防改良舗装工事を実施する他、固定ポンプの設置検討を行って参ります。更に洪水ハザードマップを更新するとともに、内水ハザードマップを作成致します。

また、避難行動要支援者への支援強化として、避難支援の可否を支援者に迅速に確認するために、災害時の電話一斉配信サービスを導入致します。

持続可能な交通体系の確立のため、予約型 AI 乗合タクシーの車両数を増やし利便性の向上を図るとともに、運行エリアを拡大した自動運転 EV バス 2 台での安定的な実運行に努めます。

また、市道 0139 号線整備事業については、引き続き強力に推進して参ります。

上下水道については、計画に基づき施設及び管路の耐震化を推進するとともに、老朽化した施設の更新により、災害時も安定した供給が出来るよう適正な管理を行って参ります。

（２）健康で快適な市民生活の実現

「健康で快適な市民生活の実現」については、20 億 3,605 万円を計上致しました。

健康寿命の延伸に向け、フレイル対策を引き続き実施するとともに、「長生きじょうづるさん健康ポイント」として、市のデジタル通貨ポイント付与により、健康づくり活動の推進を図ります。

また、運動施設の充実については、新総合体育館の整備を進めるとともに、大里ふれあい広場プールの長寿命化改修工事を実施します。スポーツイベントの開催については、水府スポーツ広場で5月の施設オープンを記念して、小学生向けサッカー教室を開催いたします。

（３）少子化人口減少対策

「少子化人口減少対策」については、7 億 5,171 万円を計上致しました。

ニーズに合った事業展開により、切れ目のない子育て世帯への支援や教育活動の充実等を図って参ります。

結婚推進については、出会いから結婚までを一年以内に想定した「一年成婚事業」に新たに取り組んで参ります。

移住定住の促進については、市内に住宅を取得した子育て世帯や新婚家庭への助成金を最大 90 万円とし、定住の促進を図ります。

公立保育園及びこども園における3歳以上児の給食については、主食付きの提供を全園で実施し、保護者の負担軽減を図ります。

小中学校における教育充実については、学びの場の拡充と子育て世帯の負担軽減を図るため、県内の教育・文化施設等の利用料金の一部をデジタル通貨ポイントで還元する「学びのじょうづるさんパ

スポーツ」を配布致します。また、一人一台端末を活用した心の健康観察アプリの導入により、中学生の心や体調の変化等を早期に把握し、適切な支援につなげて参ります。

さらに、中学生を対象として、「We Love 常陸太田 ぼくらのまちをぼくらがつくるプロジェクト」を実施し、新たな郷土愛を育て参ります。

（４）活力ある産業づくり

「活力ある産業づくり」については、６億 ５,１３０ 万円を計上致しました。

引き続き、農林畜産業の担い手支援事業や中小企業ビジネスチャレンジ応援事業を実施し、産業の活性化と雇用環境の整備を図るとともに、「常陸秋そばりブランド推進協議会」を設置し、本市常陸秋そばの再興に取り組みます。観光果樹園誘客アプリ「^カ^ジ^ュ^ア^ルKAJUAL」には、イチゴ園を追加し、市内観光果樹園への一層の誘客促進を図って参ります。

また、交流人口の拡大のため、竜神大吊橋における新たなアクティビティの整備に加え、茨城デスティネーションキャンペーン事業のイベントを継続するなど、誘客促進による地域経済の活性化を図って参ります。

（５）デジタル化の推進

デジタル化の推進でございますが、引き続きデジタルデバイド対策を行うとともに、市民の生活利便性の向上のため、各種行政手続きのデジタル化を推進致します。

行政情報アプリ「じょうづるさんナビ」やデジタル地域通貨アプリ「じょうづるさん Pay」については、機能や操作性の一層の向上

を図って参ります。

（６）カーボンニュートラルの推進

カーボンニュートラルの推進でございますが、引き続き、「カーボンニュートラル推進基金」を活用した環境教育・啓発活動・ごみの減量化・再資源化、CO₂削減、再生可能エネルギーの利活用等について、市民及び事業者との協働により積極的に推進して参ります。

（７）行財政運営等

最後に、「行財政運営等について」でございます。

まず、本市の第三セクターについては、組織整備に向けた委員会が出した方針に基づき、組織体制の強化と統合による効率が図られるよう調整を進めますほか、公共施設等総合管理計画に基づく施設の廃止や統廃合も着実に進めて参ります。

また、次世代に負担を先送りしない持続可能な財政運営を進めるため、効果的かつ効率的な行財政運営に努めて参ります。

また、行政情報を正確、かつ分かりやすく伝えるため、デジタル媒体を有効活用するほか、マスメディア並びに各種広報媒体の活用により効果的かつ戦略的な情報発信を図って参ります。

さらに、組織体制の強化のため、自衛隊 OB を防災監として、警察 OB を危機管理監として採用し、安全・安心なまちづくりに寄与するとともに、市組織の充実強化を図ってまいります。

以上、令和 7 年度の市政の運営にあたり、基本的方針と新年度予算の概要を申し上げました。

「魅力あふれる常陸太田」を、より住みやすく、次世代に負担を残すことなく継承し、市制施行 100 周年・合併 50 周年へつなげ、市民の皆様が住ん

でよかったと思えるようなキラリと輝く未来への新たな一歩となるよう取り組んで参りますので、議員各位をはじめ、市民の皆様のより一層のご理解と、ご協力を重ねてお願い申し上げ、年度頭初における所信と致します。

令和 7 年 3 月 4 日

常陸太田市長 宮 田 達 夫